10の指標にみる福島県のいま

Ver.22 平成28年12月15日

1 総人口

New!

基準:各年10月1日現在 出典:H22,27年=総務省「国勢調査結果」、その他の年=県統計課「福島県 の推計人口」

◎前年比 -0.7%19年連続減

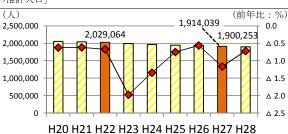


◎震災前比 H28=93. 7 (H22=100.0)



○国勢調査の結果(平成22年と平成27年)を比較すると 5.7%減少し、全国で2番目に高い減少率であった。

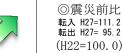
○平成28年11月1日の推計人口は1,899,486人となり、 戦後初めて190万人を下回った。



2 人口の移動状況(社会動態)

基準:各年1月1日から12月31日までの計 出典: 県統計課「福島県の推計人口(福島県現住人口調査)」

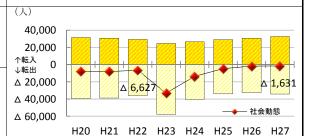
前年比 転入 +6.0% 転出 +5.2% 4年連続転出超過縮小





○震災時に大規模な人口流出が生じたが、平成24年以降 は転出超過の縮小が続いている。

○平成27年の転入者数は震災後最多となり、社会動態は 震災前である平成22年の△6,627人から4,996人縮小の \triangle 1,631人となった。



合計特殊出生率

New!

基準:年 出典:厚生労働省「人口動態統計」

◎前年比 ±0.00ポイント 前年から変化なし

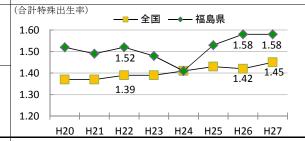


◎震災前比 H27=103.9 (H22=100.0)



○震災以降、平成24年までは下降していたが、 平成25年に上昇に転じ、震災前の水準へ回復

○平成25年以降は3年連続で全国を上回っている。



県内総生産

◎経済成長率(前年度比) 名目 +4.5% 実質 +3.9% 3年連続増



◎震災前比 名目 H26=108.1 実質 H26=108.8 (H22=100.0)



(億円)

○平成26年度(早期推計)は、建設業をはじめサー ビス業、製造業などの産出額が増加し、全体とし て総生産が増加した。

○経済成長率は名目、実質ともに3年連続のプラス となっている。



10.0

Δ 10.0

Δ 20.0

Δ 30.0

Δ 40.0

··· 経済成長率(名目)

100,000 82,1910.0 90,000 80,000 75,517 70.000 4 993 69.398 60,000 50.000 H20 H21 H22 H23 H24 H25

出典: 県統計課「福島県県民経済計算」 平成26年度は早期推計

H22

5 一人当たり県民所得

◎前年度比

+5.2% 3年連続増

意災前比

H26=115.7 (H22=100.0)



○平成24年度から3年連続で大幅増加し、平成26 年度(早期推計)は293万2千円となった。

○また、平成26年度の国を100とした所得水準は 102.2となり、国公表データと比較可能な昭和 55年度以降、過去最高となった。

(千円) (前年度比:%) 2.932 3,000 15.0 2 534 2,500 10.0 2,000 5.0 1,500 0.0 1,000 Δ 5.0 500 Δ 10.0 Δ 15.0

H23 H24 H25 H26

発行 福島県企画調整部統計課 電話024-521-7148 http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11045b/10sihyo.html

H20 H21

6 地域別最低賃金

◎前年度比 +3.0% 13年連続増



◎震災前比

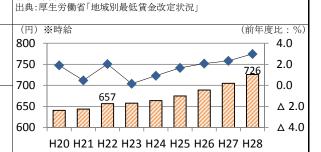
H28=110. 5



基準:年度

○本県の平成28年度の最低賃金改定額は前年度から 21円上昇し、726円となった。

○現在の表示方式となった平成14年度以降で最大の 引上げ幅となったが、全国加重平均額である823円 は下回っている。



7 新規高卒予定者の求人倍率

New!

基準:各年度9月末現在 各年度末高校卒業予定者における求人数/求職者数 出典:厚生労働省「平成28年度「高校・中学新卒者のハローワーク求人に係る求人・求職 況」取りまとめ」、福島労働局「平成29年3月新規高等学校卒業者の求人・求職状況につい で

◎前年度比

+0.01ポイント 6年連続増

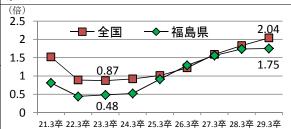


◎震災前比 **H29. 3卒=397. 7** (H22. 3卒=100. 0)



○本県の倍率は全国を下回ったものの6年連続で増加しており、平成25年度以降は1.0倍を超過している。

○求人状況を産業別にみると、製造業、卸売業・小売 業、建設業の順に求人数が多くなっている。



8 1等米比率(水稲うるち玄米)

New!

歴年:平 出典:農林水産省「米の農産物検査結果」 平成20から27年産米までは翌年10月末日時点の比率。 平成27年産米、平成28年産米の比率は速報値。

前年比+5. 1ポイント2年振り増

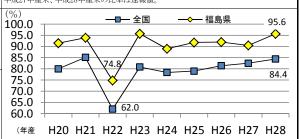


◎震災前比 **H28=127**. **8** (H22=100. 0)



○本県の平成28年産水稲うるち玄米の1等米比率 (速報値) は5年振りに95%を上回った。

○本県産米の1等米比率は全国を上回っており、 平成28年産米は11.2ポイントの差となっている。



9 全国新酒鑑評会結果

◎前年度順位比H26 1位 → H27 1位4年連続日本一



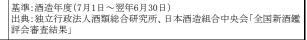
◎震災前比

H27=1位 (H21=1位)



○平成27酒造年度の本県出品の金賞受賞数は18点であった。

○4年連続で日本一となっており、本県の酒づくりは 高い評価を受けている。



(点) (順位) 🗷 金賞受賞数(左軸) ·順位(右軸) 50 40 2 30 20 3 **ว**ว 20 19 10 18 18 4 0

10 メタボリックシンドローム 該当者割合

New!

左甲: H

H20

H21

H22

出典:厚生労働省「特定健康診査・特定保健指導・メタボリックシンドローム の状況(都道府県別一覧)」

H24

H25

H26

H27

H23

◎前年度比+0. 6末° イント5年連続増

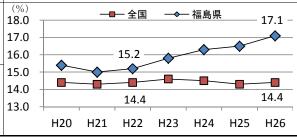


◎震災前比 **H26=112**. **5** (H22=100. 0)



○本県は震災前から全国を上回って推移しており、平成22年度以降、年々全国との差が拡大している。

○平成26年度は震災前の平成22年度から1.9ポイント 上昇し、全国との差は2.7ポイントとなった。



各指標の詳細なデータについては、出典元の各統計をご覧ください。